

オハチスイエ（空き家の化け物）

①

シネ コタン アン マヌ。 オハチスイエ コタン アン マヌ。
sine kotan an manu. ohacisuye kotan an manu.

ター チセ オルン ウタラ ネアンペ マタイタ ネアンペ キン タ リヤ コタン アン マヌ。
taa cise orun utara neanpe matayta neanpe kin ta riya kotan an manu.

ネアンペ クス サキータ チセ ネアンペ マタイタ オハ チセ ネ アン マヌ。
neanpe kusu sakiita cise neanpe matayta oha cise ne an manu.

ネワアン チセヘ オホ タ オハチスイエ アン マヌ。
newaan cisehe oh ta ohacisuye an manu.

シネ トー ホキモ サン ヌソ アニーケ ネアンペ、 リヤ コタン オロワ サハチセ オンネ アントウラハチ。
sine too hokimo san nuso an iike neanpe, riya kotan orowa sahchise onne an=turahci.

ネアンペ オヤ コタン オンネ イクサ ウタラ ネー マヌ、 トウ ヌソ ネー マヌ。
neanpe oya kotan onne ikusa utara nee manu, tu nuso nee manu.

ネー テヘ ネーロホ ヌソ ウタラ ホシピヒチ マヌ。
nee teh neeroh nuso utara hosipihci manu.

ウェン ポロ イクサ キヒチ マヌ。
wen poro ikusa kihci manu.

ネヤ コタン トウカリケ タ アリキ カンネ ウタラ オシリコクンネ マヌ。
neya kotan tukarike ta ariki kanne utara osirikokunne manu.

シヒトウル ウシ カネ ネヤ チセ ソイケ タ ウタハ マカハ マヌ。
sihturu us kane neya cise soyke ta utah makah manu.

イサオホ ヌソ ネアンペ チセ アハカリ、
isaoh nuso neanpe cise ahkari,

イオポニ ヌソ ウサント チャラ ポン アハカリ カンネ、
ioponi nuso usanto cara pon ahkari kanne,

チセ オロワノ アイヌ アシン フミヒ アン マヌ。
cise orowano aynu asin humihi an manu.

インカラ ヤイケ アイヌ タカ、 ヘマタ タカ、 オヤシ タカ、 アシン マヌ。
inkara yayke aynu taka, hemata taka, oyasi taka, asin manu.

ネヤ イオポニ ヌソ ホロカムイエビヒ ウフ マヌイケ、 アンペネ キシマ マヌ。
neya ioponi nuso horokamuyepihi uh manuyke, anpene kisma manu.

ネヤ アイヌ セタ オサカンケ ヤハカ、
neya aynu seta osakanke yahka,

ネヤ セタ ウタラ ウコホヘトウリリ カネ ヘケム ヤハカ、 ネヤ オヤシ アンペネ ヌソ キシマ クス
neya seta utara ukohheturiri kane hekem yahka, neya oyasi anpene nuso kisma kusu

アンペネ ネヤ ヌソ オシロホ。
anpene neya nuso osiroh.

タンベ レンカイネ ネヤ イオポニ アイヌ イサオホ ヌソ コカヨ マヌ。
tanpe renkayne neya ioponi aynu isaoh nuso kokayo manu.

「タニ アナハネ チセコロパハコ タカ、
"tani anahne cisekoropahko taka,

チセコロチャチャ タカ、 イシコヤントネカ ルスイ クス、 アンペネ ヨシロホカ。
cisekorocaca taka, i=sikoyantoneka rusuy kusu, anpene i=osirohka.

テマナ アンキーケ パイエアン クンペ カ ハン ネー ナンコ。
temana an=kii iike paye=an kunpe ka han nee nanko.

ある村があった。そこにはオハチスイエー空き家の化け物がいた。

その村の人びとは、冬のあいだ山ですごすための村をもっていた。

だから夏の家は、冬のあいだは空き家になっていた。

その空き家に、オハチスイエがすんでいた。

ある日、犬ゾリが山にある冬の家から、海岸の夏の家の方へむかっていた。

それは別の村へ商売をしに行く人々で2台のソリであった。

それから、そのソリたちはもどってきた。

大きな商売をしてきたそうだ。

その村の手前にやってきたところで、夜になった。

彼らは何も見えなくなって、そのままオハチスイエのいる家の表までもどってきた。

先頭のソリが家の前を通りすぎた。

後のソリが家の戸口を少しすぎたとき

家から人が出てくる音がした。

みると、人だか化け物だかが出てきて、

後のソリの後ろの杵木（わくぎ）をつかんだ。がっしりとつかんだ。

そのソリの男は犬たちをはげましてかけ声をかけたが

犬たちがいつせいに首をのばしていっしょうけんめいに引いても、その化け物はしっかりとソリをつかまえていたから、

ソリはまったく動かなかった。

そのため、後のソリの男は、先頭のソリに声をかけた。

「この家のばあさんだか

じいさんだかが、オレをとまらせたくて、ソリをはなしてくれないよ。

どうしても行かなければならんということもないだろう

オハチスイエ（空き家の化け物）

②

ナハ アン クス アンコヤントネ クスイキ」 ナハ カ イェー マヌ。
nah an kusu an=koyantone kusuiki" nah ka yee manu.

ネヤ イサオホ アイヌ ヨトウニヨ マヌ。
neya isaoh aynu yotuniyo manu.

「チョカイ ネアンペ ハンネ ヤントネアシ クスイキ、
"cokay neanpe hanne yantone=as kusuiki,

エアニ カイキ シネネヘカ エヤントネ ルスイ チキ エヤントネ ヤハカ、 ピリカ ナンコ」
eani kayki sinenehka e=yantone rusuy ciki e=yantone yahka, pirika nanko"

ナハ イェー テヘ マカン マヌ。 ヤヤスラニ クス マカン マヌ。
nah yee teh makan manu. yayasurani kusu makan manu.

ネー テヘノ イオポニ アイヌ ネヤ オヤシ コイタハ マヌ。
nee tehno ioponi aynu neya oyasi koytah manu.

「タニ ナカン アンペ エンシコヤントネカ ルスイ クス、 ナハ エキー アンペ ネー クス、
"tani nakan anpe en=sikoyantoneka rusuy kusu, nah e=kii anpe nee kusu,

ヘマカリ タハネ エアフン ワ エウンチウアーレ ナンコ、 イオポニ アフパシ クスイキ」
hemakari tahne e=ahun wa e=unciuaare nanko, ioponi ahup=as kusuiki"

ナハ イェー マヌ。
nah yee manu.

ネヤ オヤシ アフン マヌ。
neya oyasi ahun manu.

ネヤ アイヌ イサオホ セタハ コイタハ マヌイケ
neya aynu isaoh setaha koytah manuyke

セタコホニ オンネ エスイエ マヌ。
setakohni onne esuye manu.

ヌマ イケ ヌソ トウリ。 ネー テヘ オロワ アパ チャハケ アフン マヌ。
numa ike nuso turi. nee teh orowa apa cahke ahun manu.

エオチケタ ネヤ オヤシ ネ アイヌ ライキ マヌ。
eociketa neya oyasi ne aynu rayki manu.

オロ アシニケ ウコイサオホ セタ ライキ マヌ。
oro asin iike ukoisaoh seta rayki manu.

ネー テヘ オロワ イサオホ アイヌ コタン タ マカン テヘ アンカシオチャサハチ ナニ エウエーベケレ。
nee teh orowa isaoh aynu kotan ta makan teh an=kasocasahci nani eweepekere.

ター ワ オロワノ ネ アイヌ アンカシオラヤハチ。
taa wa orowano ne aynu an=kasorayahci.

サハ チセ オホ タ ウタラ ウサハテ ネヤニケ、
sah cise oh ta utara usahte neyanike,

フシコ オロワノ ネヤ アイヌ エシオチサラ ヘマカ ルーヘ アン。
husko orowano neya aynu esiocisara hemaka ruuhe an.

ター ワノ セタハ ナー エムイケ ライキ ルーヘ アン。
taa wano setaha naa emuyke rayki ruuhe an.

ネー テヘ オロワノ ヌソ パイセレ パテヘ ウタラ ヌカラ マヌ。
nee teh orowano nuso paysere pateh utara nukara manu.

コパイカリケヘ ウタラ ウコパーカリ。「タン オヤシ ナハ アン ヤイネ、
kopaykarikehe utara ukopaakari. “tan oyasi nah an yayne,

から、ここにとまることにするよ」と言った。

前の男はこたえて

「オレはとまらないよ。

とまりたいなら一人でとまったら良い」

と言って、山手（やまて）へ上って行った。このことを村人に知らせるために。

後のソリの男はその化け物に言った。

「こうやってオレを泊めたくてこうしているのだから

早く家に入って火をおこさないか。オレは後（あと）から入っていくから」

と言うと

その化け物は家の中に入っていった。

男は、先頭の犬に言って、

犬をつなぐさおに向かった。

立ちあがって犬をソリからはなし、それから戸をあけて家の中に入った。

そのとたんに、その化け物がその男を殺した。

それから外に出て、先頭犬（せんとうけん）たちも殺した。

それから先頭のソリの男は村について助けられ、すぐにこの事をつたえた。

そこで、後のソリの男を助けに行った。

夏の家に人びとが着くと

とうに男は殺されていたようすだった。

犬たちもすべて殺されていて、

人々は犬ゾリの後ろ半分だけを目にしたのだった。

春になって、人びとは相談した。「この化け物がいるうちは

オハチスイエ（空き家の化け物）

③

ネ モシリ ケシ パハノ スイ シオチサラ クス ネイケ ハンナハ クス
ne mosiri kes pahno suy siocisara kusu neyke hannah kusu

ウタラ エハウコモ クンペ ハン ネー」
utara ehawkomo kunpe han nee”

ナハ アン クス ヌプル トウスクフ、 レ トウスクフ、 アンフナナカラハチ。
nah an kusu nupuru tusukuh, re tusukuh, an=hunanakarahci.

ネー テヘ オロワノ チセ コロ ウタラ ヘカチ オンネノ エムイケ アナシンケヘチ。
nee teh orowano cise koro utara hekaci onneno emuyke an=asinkehci.

レ トウスクフ、 ター チセ タ アン。
re tusukuh, taa cise ta an.

オロワノ マンカ アイヌ。
orowano manka aynu.

サンペ コロ アイヌ、 トウ アイヌ タハ、 カチョ セーセヘカ クン ウタラ ネー マヌ。
sampe koro aynu, tu aynu tah, kaco seesehka kun utara nee manu.

シモイソー タ チャチャ トウスクフ ポロ トウスクフ アン マヌ。
simoysoo ta caca tusukuh poro tusukuh an manu.

ルルソー タ シネ トウスクフ アン マヌ。
rurusoo ta sine tusukuh an manu.

ハリキソー タ ポン トウスクフ スクフ トウスクフ アン マヌ。
harikisoo ta pon tusukuh sukuh tusukuh an manu.

レ トウスクフ ウトウルフ オホ タ ヤイ アイヌ ウタラ アナマハチ マヌ。
re tusukuh uturuhu oh ta yay aynu utara an=amahci manu.

オヤハ タ アイ ヤハカ、 アネホタシノホチ、 ニー ネヤハカ エムイケ ルルソー ワ アナマハチ。
oyah ta ay yahka, an=ehotasnohci, nii neyahka emuyke rurusoo wa an=amahci.

ター オヤシ ネアンペ シモイソー ワ ホロカ アーケシ タ アン マヌ。
taa oyasi neanpe simoysoo wa horoka aakes ta an manu.

ソンノ チヌカラオヤシ ネー マヌ。
sonno cinukaraoyasi nee manu.

トウス ウタラ マウェ カラ クス、
tusu utara mawe kara kusu,

ウサ トリマ ウェーカリカ イケ シカオホテ クルカシケ タ、
usa torima weekarika iike sikaohite kurukaske ta,

ウェン トユプン ネーノ シカオホテ マヌ。
wen toyupun neeno sikaohite manu.

タニ チュフ アフン。
tani cuh ahun.

トウス カシカムイ アンカラカラハチ。
tusu kaskamuy an=karakarahci.

ソー オイカリ ポン ウンチボ フッテヘ ウンチボ アナーレヘチ。
soo oykari pon uncipo huhteh uncipo an=aarehci.

カチョ ユッケ ヘマカ、 ネ ウンチ アヌシカハチ。
kaco yuhke hemaka, ne unci an=uskahci.

ネー テヘ オロワ ネヤ レ トウスクフ トウス マヌ。
nee teh orowa neya re tusukuh tusu manu.

この世の末まで、また人が殺される。だから、

我々はこのまま声をひそめていてはだめだ」

そこで、えらいトウスクフを3人さがし出した。

それから、家の人々は子どもまですべて外に出された。

3人のトウスクフが家にのこった。

それから強くて

勇気のある男2人が、トウスクフの太鼓（たいこ）のあたため手として残った。

右座（みぎざ）に年よりのトウスクフが座った。

上座（かみざ）に1人のトウスクフが座った。

左座（ひだりざ）に、若いトウスクフが座った。

3人のトウスクフの間に、普通の人々を置いた。

わかれて座っていても、それぞれが心がまえをしていた。マキも上座の方に置いた。

その化け物、オハチスイエは右座の下手（しもて）にいた。

本当にはっきりと見える化け物だった。

トウスクフたちの息吹（いぶき）がかかるので

いろいろなゴミを自分にかけて、自分の上に

土けむりがまっているかのようにゴミをかけていた。

やがて日がくれ

トウスクフの守り神が呼び出された。

人々のまわりに小さなトドマツの火がたかれた。

太鼓（たいこ）にじゅうぶんにはりがでたとき、その火は消された。

それから、そのトウスクフたちはトウスをはじめた。

オハチスイエ（空き家の化け物）

④

イパハノ ネヤ オヤシ ウマ トウス マヌ。 アレウオーヤ コボンチ シカオホテ マヌ。
ipahno neya oyasi uma tusu manu. arewooya koponci sikaohste manu.

アルサ トウイエ キロ ウイナ マヌイケ、 ウトンタレ マヌ。
arusa tuye kiro uyna manuyke, utontare manu.

ネヤ レ トウスクフ トウス マヌイケ、 カムイ チェーカリ。
neya re tusukuh tusu manuyke, kamuy ceekari.

チセ クルカシケ レラ フム ネーノ チセ エクルル フミヒ アン マヌ。
cise kurukaske rera hum neeno cise ekururu humihi an manu.

ネア トウラノ プイ オロワノ カムイ アイ アフン フム アン マヌ。
nea turano puy orowano kamuy ay ahun hum an manu.

コシリピウコサヌ、 ネヤ オヤシ アントウカナハチ。
kosiripiwkosanu, neya oyasi an=tukanahci.

シトウカハタ ネヤ トウイエ キロ ウトイシタイキレ ウコテス マヌイケ
situkahta neya tuye kiro utoysitaykire ukotesu manuyke

シトウカハタ コシヒタハコサヌ。
situkahta kosihtahkosanu.

ウタラ インカラハ ネヤニケ、 ネヤ トウイエ キロ トンケ ワ カムイ アイ ホタハセ。
utara inkaraha neyanike, neya tuye kiro tonke wa kamuy ay hotahse.

ネア トウラノ ネヤ オヤシ ミーナ ハウヘ エネ ポ カネ アニ。
nea turano neya oyasi miina hawhe ene po kane ani.

「イハ ハハ ハハイ、 トウイエ キロ チョホチャハチーケ イハハハハハイ!」
"iha haha hahay, tuye kiro cohcahci iike ihahahahahay!"

テーコロ エミーナ マヌ。
teekoro emiina manu.

トウス ウタラ テーコロ エオチサハチ マヌイケ
tusu utara teekoro eocisahci manuyke

カンナ ウタラ コトウスユブ マヌ。
kanna utara kotusuyupu manu.

カンナ プイ オロワ カムイ アイ アフン マヌ、 コシリピウコサヌ。
kanna puy orowa kamuy ay ahun manu, kosiripiwkosanu.

ウタラ インカラ ネアニケ、 ニパポオホチケ ウトイシタイキレ シトウカハタ、
utara inkara neanike, nipapoohcike utoysitaykire situkahta,

カムイ アイ トウタンカ マヌイケ ネヤ カムイ アイヘ コシヒタハコサヌ。
kamuy ay tutanka manuyke neya kamuy ayhe kosihtahkosanu.

ニパポオホチケ オロワ カムイ アイ ホタハセ。
nipapoohcike orowa kamuy ay hotahse.

ネア トウラノ ネヤ オヤシ ミーナ ハウヘ エネ ポカ アン マヌ。
nea turano neya oyasi miina hawhe ene po ka an manu.

「イハ ハハ ニパポオホチケ チョホチャハチーケ イハハハ」
"iha haha nipapoohcike cohcahci iike ihahaha"

テーコロ エミーナ マヌ。
teekoro emiina manu.

レウシ コノ ウタラ コアシ マヌ。
rewsi kono utara koas manu.

それと同時に、その化け物もトウスをはじめた。いろいろなゴミを自分の上にふりかけ、

それから、ひと組のやぶれた靴（くつ）を手にとって、打ち合わせた。

3人のトウスクフはトウスをして、神々をよびあつめた。

家の上に、風の音のように、神々が家をゆるがす音がひびいてきた。

それとともに、天まどから神の矢がとびこみ

ピウッと音を立てて、オハチスイエに向かっていこまれ

化け物はすんでのところで、やぶれ靴（くつ）で打ち払った。

化け物の手前で タツと音がした。

見ると、そのやぶれ靴（くつ）の中ほどに神の矢がつきたっていた。

それとともに、化け物がこんな笑い声をあげた。

「イハハハハイ!やぶれた靴（くつ）をうちやがって、イハハハハイ!」

とひどくバカ笑いをした。

トウスクフたちはたいそうくやしがり、

ふたたび、いっそうはげしくトウスをした。

また天まどから神の矢がとびこんできた。ピウと音になる。

みると、長いわんをのせる木のぼんで打ち払った。化け物に

神の矢がせまり タツと音がした。

木のぼんに神の矢がつき立っていた。

すると、化け物はこんな笑い声をあげた。

「イハハハ!木のぼんをうちやがって!イハハハ!」

と、ひどくバカ笑いをした。

人々はひとばんじゅうトウスをつづけた。

オハチスイエ（空き家の化け物）

⑤

カンナ カムイ アイ アフン。
kanna kamuy ay ahun.

ネヤ オヤシ シトゥカハタ ハンカタ シヒケウ ウトイシタイキレ マヌ。
neya oyasi situkahta hankata sihkew utoysitaykire manu.

ネヤ カムイ アイヘ ネヤ ハンカタ シヒケウ トンケ ワ ホタハセ マヌ。
neya kamuy ayhe neya hankata sihkew tonke wa hotahse manu.

ネヤ オヤシ ミーナ マヌ。
neya oyasi miina manu,

「イハハハ ハンカタ シヒケウ チョホチャハチーケ イハハハ ハイ」
"ihahaha hankata sihkew cohcahci iike ihahaha hay"

テーコロ エミーナ マヌ。
teekoro emiina manu.

ネヤイネ ター イコトゥフ タ アレウオーヤ コムン シカオホテ マヌ。
neyayne taa ikotuh ta arewooya komun sikaohote manu.

シヒニケピヒ ウサハタハ ネーノ アン マヌ。
sihnikepihi usahtah neeno an manu.

ネア トウラノ ウパハ アンノシケ ポロ トウスクフ カムイ オホ マヌイケ、
nea turano upah annoske poro tusukuh kamuy oh manuyke

ネー テヘ オロワノ トウス ナー コヤイクシ。
nee teh orowano tusu naa koyaykus.

タニ アシ カイキ ネヤ ポン トウスクフ ナヌフ オロワ カ ケム アシン クス カラ。
tani asi kayki neya pon tusukuh nanuhu orowa ka kem asin kusu kara.

テーコロ ニウエン マヌ。
teekoro niwen manu.

ボン トウスクフ ネアンペ ヨキラシノカ パテヘ キーヒ ネー マヌ。
pon tusukuh neanpe yokirasnoka pateh kiihi nee manu.

タニ アシ ポン トウスクフ カムイ シコホキ マヌイケ、ヌマ ワ トウス マヌ。
tani asi pon tusukuh kamuy sikohoki manuyke, numa wa tusu manu.

ヌマ ウシ レヘニ アニ カチョ ター マヌ。
numa us rehni ani kaco taa manu.

ウタラ インカラ ネヤニケ テヘニ オホンケシ オロワ オヤウ アシン。
utara inkara neyanike tehni ohonkesi orowa oyaw asin.

ネヤ オヤウ ラウ タ ハーチリ。ネア トウラノ ネヤ オヤウ ウフ マヌイケ、
neya oyaw raw ta haaciri. nea turano neya oyaw uh manuyke,

エカチョター マヌ。ネヤ オヤウヘ ハウイキ マヌイケ、
ekacotaa manu. neya oyawhe hawiki manuyke

「ピシ」 ナハ キー マヌ。チャルフ マシパ カネ ハウ イキ マヌ。
"pis" nah kii manu. caruhu maspa kane hawiki manu.

タハ オホ タ ネ オヤシ シヒナム ノシキヘ オアカシン カンネ インカラライ マヌ。
tah oh ta ne oyasi sihnum noskihe oakasin kanne inkararay manu.

ハモ シヒランパ テーコロ インカラライ マヌ。
hamo sihrampa teekoro inkararay manu.

ネア トウラノ プイ オロワ カムイ エムシ アフン マヌ。
nea turano puy orowa kamuy emus ahun manu.

また、神の矢がとびこんだ。

化け物は、自分の前で樺皮（かばがわ）のはこでうち払った。

その神の矢は、樺皮のはこのすみにつき立った。

化け物はこうやって笑った。

「イハハハ！ハンカタのすみを打っちゃって！イハハハハイ！」

と、ひどくバカ笑いをした。

そうしている間も、そばにある色々なゴミを自分の上にかけてづけていて

目の光は熾（おき）のかたまりのようにかがやいていた。

それとともに、真夜中になると大トウスクフの守り神がさっしまい、

そうしてトウスができなくなった。

このときになって、その若いトウスクフは、その顔から血をふくほど真っ赤になって

はげしく歯ざしりした。

若いトウスクフは、それまで年長のトウスクフのてつだいだけをしていた。

今やついに、自らのカムイをよびよせ、立ちあがってトウスをはじめた。

毛の生えたバチで太鼓（たいこ）をたたいた。

人々が見ていると、バチのはしからヘビが出てきた。

そのヘビが下におちた。すると若いトウスクフはヘビを手にとり

それで太鼓（たいこ）を打ちたたいた。そのヘビは口をあけて

「ピシ！」という声を出した。

オハチスイエはそのようすを目玉が半分までとびだすほど開いてじっと見つめていた。

まばたきもしないで、すっかり目をうばわれていた。

それと同時に天まどから神の刀がとびこんできた。

オハチスイエ（空き家の化け物）

⑥

ネヤ オヤシ レクチ カ ソシマ マヌイケ、 レクチ アントウイエヘチ マヌ。
neya oyasi rekuci ka sosma manuyke, rekuci an=tuyehci manu.

サパケヘ カラカハセ カンナ コヤイエテス。
sapakehe karakahse kanna koyayetesu.

ネア トウラノ プイ オロワノ カムイ アイ アフン。
nea turano puy orowano kamuy ay ahun.

ペンムフチャラ カ タ アイ ホタハセ、 ピシカネネ ネットパクリヒ エカラカハセカ。
penmuhcara ka ta ay hotahse, piskan ene netopakurihi ekarakahseka.

ネヤ オヤシ ネットパクリヒ トイ コマケ、 オハ コホ ケセケ テシコサヌ。
neya oyasi netopakurihi toy komake, oha koh keseke teskosanu.

トウラノ シヒトーノ。 ピシカン チセ オルン ウタラ アネタハカラ アンヌカンテヘチ。
turano sihtoono. piskan cise orun utara an=etahkara an=nukantehci.

オハ ケムヒ パテヘ セヘ カシケタ ポン ナイ チャハセ ネーノ アン テヘ、
oha kemhi patch seh kasketa pon nay cahse neeno an teh,

ネットパキヒ イサム マヌ。
netopakihi isam manu.

ネー テヘ オロワ ネヤ トウ トウスクフ オホ タ ウエン アイヌ、
nee teh orowa neya tu tusukuh oh ta wen aynu,

トウ アイヌ ケワタイヘ パハノノ アンコンテヘチ。
tu aynu kewatayhe pahnono an=kontehci.

カムイ オホ トウスクフ エネ カ ネ、ヤイトウスブンマ アンコンテヘチ。
kamuy oh tusukuh ene ka ne、yaytusupumma an=kontehci.

ケライ クス アシン タン モシリ ケシ タ コラムシネ オカイ ウタラ キー マヌ。
keray kusu asin tan mosiri kes ta koramusine okay utara kii manu.

タン トウ トウスクフ イサム クス ネイケ。
tan tu tusukuh isam kusu neyke.

タン オハチスイエ タン モシリ ケシ パハノ アン クス ネイケ、
tan ohacisuye tan mosiri kes pahno an kusu neyke,

ハンナハ クス エラムモ クンペ カイキ ハン ネー マヌ。タニ ヘマカ。
hannah kusu eramumo kunpe kayki han nee manu. tani hemaka.

オハチスイエののどにつきたち、首を切りおとした。

オハチスイエの首がころがって、ふたたびおきあがった。

それと同時に天まどから神の矢がとびこんできて

オハチスイエの胸に矢がつきたった。すると、どう体があちらこちらにころげまわった。

オハチスイエのどう体はパツときえて、そこにはただそのあとだけがのこっていた。

それと同時に夜があけた。近くの家の人々が家の中によび入れられて見てみると

ベッドの上に小さな川が流れたように、化け物の血だけがあって

体はきえていた。

それから、その2人のトウスクフには、それぞれ

2人分の賠償金（ばいしょうきん）にあたるほどのお礼がわたされた。

カムイがさってしまったトウスクフには、ふつうのお礼がわたされた。

このおかげで、この世界の末まで、人々はみな安心してくらせるようになった。

この2人のトウスクフがいなかったら

このオハチスイエが世の末までいたとしたら

けっして人々は心安らかにはいられなかったであろう。これでおしまい。